

SHIRO PAPER



Issue
November
2023

3

A2 SHIROの未来 AtoZ
私たちが描く未来を
一緒に旅する
26のキーワード

A8 HOLY BASIL
生産者を訪ねる旅
ホーリーバジルの生産地
広島県東広島市へ

B2 FORESTRY
はじまりの森で語り合った
絶望と希望
SHIROが向かう未来





SHIROが思い描く未来

SHIRO PAPERの創刊準備号の発行から1年。
北海道・砂川市にみんなの工場がオープンし、
来年秋には新しいレストランがオープン。
また長沼町ではMAISON SHIROが開業します。
未来の話をはじめましょう。

Illustration: 3KG / Text: SHINTARO KUZUHARA

私たちが描く未来を 一緒に旅する26のキーワード

2023年、創業の地である北海道では、みんなの工場がオープンしました。そして来年、みんなの工場の敷地内にレストランと、長沼町にMAISON SHIROがオープンします。2022年にSHIROが運営を引き継いだ砂川パークホテルのリニューアル計画も現在進行中。また、今年の9月にはアジア初の海外実店舗となる台湾店をオープンするなど、世界の多くの方々に製品をお届けする展開も進めています。

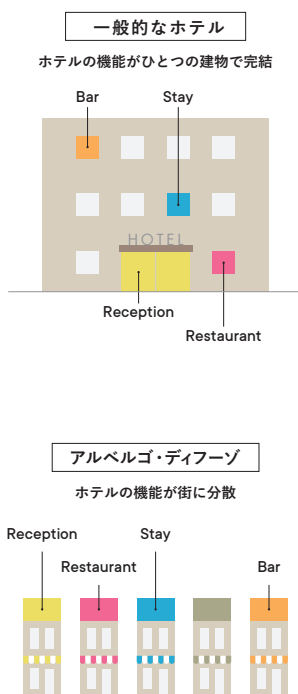
もしかすると、次々と新しい分野に手を広げているように見えるかもしれませんが、そんなことはないんです。化粧品をつくるときにも、カフェを営業するときにも、建物を建てるときにも、私たちが大切にしていることは変わりません。安心・安全な素材を使うこと。素材の持つ力を最大限引き出すこと。畑の、海の、森の都合に合わせてつくること。生産者さんに直接お会いして、一緒に畑や森を歩いて、彼ら、彼女たちの目を通して地球の様子を感じています。

大雨・ゲリラ豪雨、猛暑・水不足など、気候が変化しているのを感じます。地球の恵みをいただいて製品をつくっているブランドとして、私たちができることを考え、実行したい。SHIRO PAPERの創刊準備号を発行してからおよそ1年が経ち、SHIROの目指す方向が見えてきました。

ALBERGO DIFFUSO

地域まるごと ホテルで おもてなし

ひとつの建物にホテル機能を集約するのではなく、街全体をホテルと考えるイタリア発の取り組みが「アルベルゴ・ディフーゾ」(分散型宿泊施設)です。空き家や古民家を客室に、地域のレストランを夕食会場に、地域の温泉施設を浴室に。街にある資源を活用し、ホテルとして必要な機能を揃えます。SHIRO誕生の地、北海道砂川市には、これを実現できる可能性があると考えています。SHIROが砂川でやってみたいことのひとつです。



BULK SHOP

必要な量は、自分で決める

みんなの工場には、ものづくり体験をしながらオリジナルの香りをつくれる「ブレンダーラボ」があります。香りをブレンドするのはあなたです。容量の異なる2種のボトルから自分で必要な量を選択し、自分で注ぐ。この「自分にとって必要な量を考えること」がとても大切だと思います。使う分だけしか買わなければ、無駄は自然と減っていくはず。ブレンダーラボを体験したあとは、自分の日常で活かせることがないか考えてみてもらえたらうれしいです。

COMPOST

生ゴミを 堆肥にして 循環する

みんなの工場では、カフェで調理する過程で生じる生ゴミや、化粧品の製造過程で出る残渣などを、コンポストに入れて堆肥化しています。堆肥は、SHIROの畑の土に混ぜ、そこで育った野菜をカフェで使うという循環を目指しています。本来であれば捨てられることの多い自然素材を用いて化粧品づくりを行なっているSHIROだからこそ、工場でもカフェでもそこから発生する生ゴミを焼却することなく自社内での有機的な循環を実現します。

DO IT YOURSELF

とにかくやってみる

まずは自分でやってみる。まずは自分でつくってみる。そうやって、SHIROはスタートしました。ブランド誕生から15周年を迎えたが、これからもDIYの精神を大切にしていきます。



ENVIRONMENT

地球沸騰時代に 私たちができること

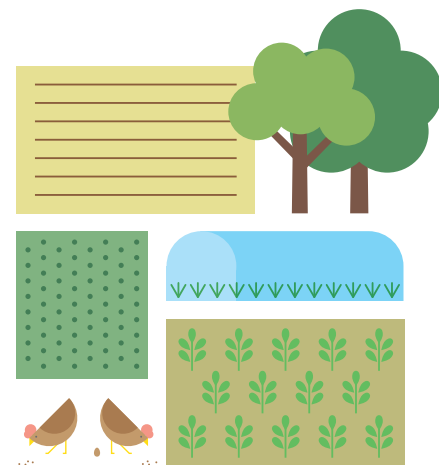
観測史上もっとも暑い月となった2023年7月。国連事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、“地球沸騰”の時代が到来した」と表現しました。生産者さんも「金木犀の花が咲かない」「木々が種をつけない」など異変が起きていると話します。未来へ向けて、私たちができることを本気でやっていかねばと思う毎日です。



FARM

耕作放棄地をなくす

旬の素材を探して全国各地の生産者さんを訪ねると、耕されずに荒れてしまった田畑をあちこちで見かけます。農家の高齢化や、若者の農業離れにより、耕作放棄地が増加しているのです。畑が耕されなくなると、里山が荒れ、野生動物が街に現れるなどさまざまな問題が発生します。農地を守り、景観をつくり、自然を未来に残すために、新しいプロジェクトを計画中。お楽しみに。



HEALTHY FOOD

身体に必要な栄養を 素材から直接取り入れる

SHIROの製品で用いている自然素材は、どれも生産者さんがこだわりと想いを込めて育てているものばかり。栄養もたっぷりで食べておいしいのはもちろん、子どもたちにも食べてほしいと思える安心さもあります。SHIRO CAFEのメニューでは、素材の良さを感じていただけるメニューを提供しており、さらにお家でも楽しんでいただけるような製品を開発しています。



IMAGINE

100年先を想像する

森づくりはゆっくり育つ木に寄り添い、未来の景色を想像しながら進めるもの。SHIROも100年つづく企業を目指して、100年後にどんな社会が実現してほしいかを考え、今すべき選択をしていきます。



JOURNEY

未来を探す旅

素敵な素材をつくられている生産者さんに会いに、畑へ、海へ、山へ、森へ。SHIROが進むべき道を探しに、海を超えて他の国へ。私たちはずっと旅をつづけています。旅で出会う人や価値観によってSHIROが形づくられていきます。



GENERATION

世代が混じり、働く

「年齢」がハードルになってやりたいことができない、挑戦できないなんてもったいない。そこで私たちは定年退職制度をなくし、シニアの方々が働きやすい環境を整えることにしました。年齢を重ねればそれだけ、たくさん経験の積み、多くの知恵を蓄えています。その経験や知恵が若い世代の価値観と混ざったときにきっと起きる、ミラクルな何かに期待しているのです。世代が混じり「みんな」で働くことで、SHIROはさらに柔軟に横や縦に伸びていきます。お客様だけでなく、スタッフの働く環境もよりよい未来に向けて考えていきたいです。



KNOWLEDGE

足を運んで知恵を得る

実際にその場所を訪れて、そこに生きる人たちと話す时必须新しい発見があり、今まで持ち合わせていなかった知恵を得ます。その知恵は新しい製品づくりに活かされたり、みんなの工場に実装されたりしています。旅をして、知恵を得て、実装して、また旅に出る。SHIROの旅はまだまだつづきます。



LOCAL

砂川で進める、
SHIROのまちづくり

砂川では市民が主役のまちづくりプロジェクト「みんなのすながわプロジェクト」に取り組んできました。自分たちができることをまちに提供する。誰かのせいにせず、みんなでまちづくりに取り組んだことで、SHIROもさまざまな気付きを得ました。2023年の春にオープンした「みんなの工場」を皮切りに、砂川パークホテルのリブランディングをはじめするなど、新しいプロジェクトを砂川で進めています。



NATURE

自然の都合に合わせたものづくり

例えば、自然素材を原料にしている製品は在庫数が毎年変わります。なぜなら、その年によって採れる量が変わるからです。2024年春にオープンする一棟貸しの宿泊施設「MAISON SHIRO」でも、森を健全に保つために間伐された木の中から、柱や梁に使えるような木を探しました。人間の都合ではなく、自然の都合に合わせたものづくり。今は珍しいですが、未来には当たり前になっていると私たちは考えています。

OPEN

ガラス張りのラボ・工場

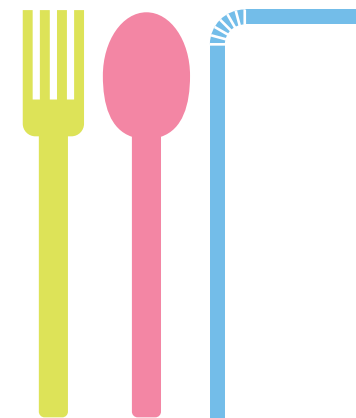
「みんなの工場」の工場エリアはガラス張り。研究開発から素材処理、製造工程のすべてをご覧いただけます。ものづくりを身近に感じてほしい。という想いだけでなく、私たちの正直な製品づくりを伝えるために、過程を開き、みんなに見てもらうことを大切にしています。



PLASTIC

問題は使い捨てて
しまうこと

最近、悪者扱いされることが多いプラスチック。私たちもできる限り脱プラに取り組んでいます。ふと「プラスチックが悪いのだろうか？」と思うことがあります。問題はプラスチックではなく、1回使って捨ててしまうことなのではないでしょうか。使い捨てるものは受け取らない。繰り返し使えるものを選ぶ。プラスチック製品を大切に長く使う。店舗やカフェを営業しながら、ゴミを減らす方法を探りつけていきます。



MAINTAINABLE

手をかければずっと使える

壊れたら直す。一昔前なら当たり前だったのに、いつの間にか「壊れたら捨てて、新しいものを買う」ようになってしまいました。企業としては新しい製品が売れるほうがうれしいわけですが、それが本当に良いことなのでしょう？ 壊れたら直すようにするには、直しやすい設計が大切です。だから「MAINTAINABLE」（手入れできる）が大切。壊さないで、捨てないで、きれいにします。こうした考えは、お店づくりなどに活かされています。

QUALITY

質は高くて当たり前

SHIROは自然環境や未来のことを考え、自分たちが毎日使いたいものをつくっています。もちろんその前提として、高い品質を追求しています。品質に自信があるからこそ、自分たちが思い描く未来についても堂々と発信できるのです。

REUSE

200万本の容器を
リユースする

SHIROでは年間約400万本のボトルを使用しています。この容器を店舗で回収し、洗浄してから再利用するプロジェクトを進めています。目標は半分の200万本を回収すること。1本のボトルをブランドとお客様で循環させて、できれば10回は使いたい。ボトルを仕入れるコストを、洗浄するコストに充てたらきっと実現できるはずです。

SCANDINAVIA

自然と生きる
北欧の価値観

人々が自然と共に暮らす北欧には「自然享受権（freedom to roam）」という考え方が根付いています。これは土地の所有者に損害を与えない限りにおいて、すべての人が自然の中を自由に通れるし、テントで休んだり泊まったり、果実やキノコなどを採取できる権利。もちろん「なんでもあり」というわけではありません。自然の回復力を踏まえ、自分の行動に責任を持ちながら自然と接するのです。そんな北欧の人々の気持ちの豊かさを SHIROも学んでいきたいと思っています。



TRAIL

あるべき未来に向かう道づくり

「本当はこうだったらいいのに」ということが、農業にも森にも街にもたくさんあります。私たちの製品や店舗は、あるべき未来へお客様と一緒に進む道のりのようなもの。これからも未来を想像し、道をつくりつづけます。



UPCYCLE

捨てない、
新しくつくりなお店づくり

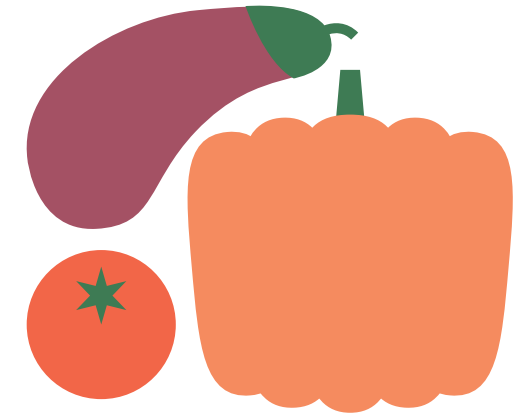
私たちは「捨てないで活かすものづくり」を大切にしています。2023年9月にリニューアルした「ルクア イーレ店」や台湾にオープンした「新光三越台北信義新天地 A11 店」を皮切りに、今あるものを大切にするロングライフデザインの提案として店舗を捉え、さまざまな工夫を施しています。ルクア イーレ店では使用できなくなったフレグランス容器を砕いて左官材に混ぜ込み使用、台湾店では製品や資材などを運搬する木箱をオリジナルで制作しそのまま店舗の什器にしています。使い終わったら捨てる、という考えが当たり前になっている今、大切に使いつづける提案をどんどんしていこうと思っています。



VEGETABLES

野菜のおいしさを
そのままお届け

「SHIRO CAFE」にはパスタやパンケーキ、ドリンクなどさまざまなメニューがありますが、自慢は野菜です。北海道産をはじめ、生産者さんから直接仕入れた素材の味をよりシンプルに楽しんでいただけるメニューを提供しています。「自然の素材をシンプルに」という私たちのものづくりの信念は、製品だけでなくカフェメニューにも活かされています。



WONDER

ドキドキするような
未来のカケラを日常に

SHIROの製品や施設で得ることができる感動体験。そこで心に残るワクワク感をぜひ日常に持ち帰ってください。自然を大切にする心、ものづくりへの情熱や誇り。一人ひとりの日常に活かされることで、未来は少しずつ良い方向に変えていけるのではないかと考えています。



EXPERIENCE

ものづくりを学ぶ

みんなの工場にある「ブレンダーラボ」では、オリジナルのフレグランスをつくることができます。ひとりでも多くの方に、自分で試してみる、つくってみることを楽しさや大切さを伝えたい。そんな想いから生まれた場所です。ぜひ皆さんも体験してみてください。



YOUTH

老いも若きも、
同じ

「大人は偉い」「子どもの意見は参考にならない」こんなふうに、年齢によって接する態度を変える必要はないと思います。実際、子どもたちの純粋な質問が製品につながることもあります。子どもは、大人と比べて、年齢が若いだけ。ひとりの人間としてフラットにコミュニケーションする未来を目指しています。



ZERO WASTE COMPANY

SHIROが目指す姿

何かを生み出す過程で生まれる「無駄なもの」をゼロにする。これがSHIROが目指す未来の姿です。まずは副産物を極力少なくする努力が大事になります。そのうえで、仕方なく排出してしまった副産物は、循環させる。堆肥や他の製品の原材料として活用するようにします。これを実現するには、原材料や製造工程を見直し、あらゆるものの「循環」を前提に考え直さねばなりません。簡単な道のりではありませんが、未来のあるべき姿を目指し、お客様と一緒に歩んでいきたいと思っています。



SHIRO NEWS

SHIRO
Dears Collection 2023

ホリデーシーズンにSHIROから、すべての方へ愛と感謝を込めて贈る限定コレクション。第1弾のパフュームにつき、11月6日(月)には第2弾として「アドベントカレンダー」、「ホリデーセット (全7製品)」、「ホリデーメイクアップセット (全3製品)」が登場します。今年初めて発売する「アドベントカレンダー」は、本コレクションのためにつくられた新製品や懐かしい複製製品などSHIROをまるごと体験できるアイテムがラインナップ。

海外のお客様にも
SHIROの製品をお届け

今年9月にアジア初の海外実店舗として台湾にオープンした「SHIRO新光三越台北信義新天地A11店」。お店づくりではロングライフデザインを意識し、日本から製品や資材を搬送する際に用いた木箱をそのまま仕器にしました。立ち寄られた際は、ぜひ注目して見てください。さらに同月、中国では越境EC「天猫国際 (Tmall Global)」にブランド旗艦店もオープン。今後も国内外問わずよりたくさんのお客様に、SHIROの製品を通して、しあわせをお届けしていきます。

SHIRO CAFEの
ホリデーメニュー

11月1日(水)から、ホリデー気分を盛り上げる新メニューがスタート。砂川本店と自由が丘店では、ココアムースと鮮やかなフランボワーズ、ほうれんそうピューレを添えた「パンケーキ ココアムース & フランボワーズ」と、ルバーブの甘酸っぱさがアクセントのドリンク「ルバーブ×ピーツ×カルビス」、「ジンジャー×ハチミツレモン×ピーツ」をご用意。渋谷ヒカリエ ShinQs 店では旬のいちごを楽しめるデザート感覚のドリンク「ストロベリーヨーグルト」をお楽しみいただけます。

安心して製品を
ご購入いただくために

10月より「SHIRO のオンライン相談」サービスを開始しました。店舗でお買い物をするように、ご自身のお買い物やギフト選び、おすめの使い方など、お気軽にご相談ください。オンラインでのご購入限定で、人気のスキンケア18製品を対象に30日間お試し後、返品可能な「スキンケアプログラム」とあわせてご利用いただけます。気になっていたスキンケア製品がある方は、この機会にご自身の肌にぴったりなアイテムを見つけてみてください。

フレグランス製品の容器が
リニューアルして登場

フレグランス製品「ハンド美容液 (全5種)」がチューブタイプの容器へリニューアルしました。香りやテクスチャーはそのままに内容量をアップし、余すことなく最後までお使いいただけるように改良。新たな容器になることで、お気に入りの香りをより持ち運びやすく、生活に寄り添うハンドケアアイテムに生まれ変わりました。お部屋で香りを広げる「フレグランスディフューザー」も、ギフトシーズンに向けて新たな容器で登場予定です。

限定スキンケア
旬シリーズ「ゆず」

旬の素材を味覚で楽しむように肌に髪にも取り入れてほしい、という想いから誕生したSHIROの旬シリーズ。ホーリーバジルにつづいて、徳島県の「木頭柚子」を使った製品が12月に登場します。収穫したその日のうちに果汁を絞り、農園に広がるゆずの力とフレッシュな香りをそのまま「オイルインウォーター」と「ハンドクリーム」に閉じ込めてお届け。年明けは、定番でも人気の「酒かす米ぬか」も旬シリーズで初登場する予定です。

SHIROの世界観を堪能できる
一棟貸しの宿泊施設

MAISON SHIROが2024年春にオープンします。

「馬追の名水」で知られる北海道夕張郡長沼町。

美しいクリエイティブを、自然の循環を守りながら叶える
そんな建物づくりを行っています。

森を健全に保つために私たちができること

樹齢60年の木々を伐採して、60年間住む家建てる。そして新たに芽生えた幼い木を60年間大切に育てつづける。私たちはそんなシンプルな循環を目指してMAISON SHIROを設計・建設しています。日本の国土の7割は森林です。でも、日本で使用される木材の6割 (2021年度林野庁) を輸入に頼っています。あれ? どうして? 日本の森に生えている木を使って家を建てることはできないの?



身近な農産物や植物を素材として使い、自然に合わせた化粧品づくりをしてきたSHIROが現在取り組んでいるのは、森の都合に合わせた建物づくり。MAISON SHIROのプロジェクトは、設計者から大工まで、関係者みんなで森に入り、木こりたちと話しながら木を伐ることからはじまりました。今回使用しているのは間伐材が中心です。太く成長した木を残すために伐られた間伐材は細く、1本で梁に使うには十分ではありませんでした。そこで、建築家と構造設計者が議論を繰り返し、細い木材を束ねて構造をつくり、柱の本数を減らしたオープンな空間を実現しています。

あまり前例のない取り組みですから、いろ

いろな壁にぶつかっています。その度に、設計者、構造設計者、大工、そして施主である私たちが集まり、知恵を出し合い解決方法を探ります。今は極端なこだわりを持った工法と見られている私たちの建物づくりですが、将来的にはこれがスタンダードになっていると信じています。がごめ昆布や酒かすを使ったスキンケア製品を発売した時も理解されるのには時間がかかりました。でも、今ではSHIROの定番製品です。森の都合に合わせた建物づくりを根付かせ、私たち一人ひとりが使った分の木を育てられているかを意識すれば、森は健全に保たれるはず。

製品の原料となる素材の
蒸留設備「シロラボラトリー」

宿泊棟の隣には、蒸留設備を備えた「シロラボラトリー」を設置。近隣の森林を管理する過程で生まれる間伐材やその枝葉、森に自生する笹やヨモギなどを、馬追山の天然の湧水である「馬追の名水」を用いて蒸留し、SHIROの製品に使用します。宿泊者には実際のSHIROのもののづくりの工程の一部をご覧いただけます。

サウナで感じる
北海道の自然の恵み

施設に併設するサウナは、北海道愛別町の白樺と札幌軟石を使用。薪ストーブ、電気ストーブ共に本場フィンランドのIKI STOVEを設置し、爽快な熱気・熱波をお楽しみいただけます。ロウリュウには、シロラボラトリーで生まれる蒸留水を用います。※サウナは宿泊のお客様のみお楽しみいただけます。



旬のホーリーバジルの香りを そのままボトルに

Photograph & Text: SHIN SASAKI

残暑がつづく9月初旬、広島県東広島市で無農薬・無化学肥料で野菜を栽培している「ひなた農園」さんを訪ねました。SHIROでは、ひなた農園で育つホーリーバジルを、旬の素材を楽しむ『ホーリーバジルオイルインウォーター』の素材として使用しています。全国的に猛暑日がつづいた2023年の夏、広島は降水量が非常に少なく、水が大好きなホーリーバジルは例年ほどには成長しませんでした。「でも、背丈が低い分、香りがギュッと凝縮されています。今までで一番力強いホーリーバジルかもしれません」と日向実香さんは言います。畑に漂うホーリーバジルの香りを逃さずにそのままボトルに詰め込むために、新鮮なまま蒸留所に届けます。早朝に広島畑で収穫したホーリーバジルを車に積んで、午前中に広島を出発。瀬戸大橋を渡り、鳴門海峡を越えて、15時には淡路島にある蒸留所に到着しました。化粧品の「旬」って少し伝わりづらいかもしれませんが。SHIROの旬シリーズは、季節の素材を使うのはもちろん、収穫した素材を新鮮なまま製品化しています。

実はホーリーバジルオイルインウォーターは、昨年まで茶色でした。それが今年は透明に。これは、蒸留の様子を見ていた日向さんのお子さん、奏太くんところちゃんの素朴な疑問がきっかけでした。蒸留機から出てくる蒸留水は透明なのに、製品は茶色い。「どうして?」と質問されたのです。去年は後から乾燥させたホーリーバジルのエキスを加えることで茶色になっていたのですが、子どもたちにきっかけをもらい、旬をそのまま届けることについて改めて考えました。畑や車の中、そして蒸留所には翌日まで満ちていたあのホーリーバジルの香りをボトルに閉じ込めたいと思い、シンプルな処方をつくることを淡路島で決めました。

日向俊介さん・実香さんご夫妻は、東京でフラワーショップに勤務していました。独立へ向けて準備を進めていた2011年3月に東日本大震災が発生。そこで一度立ち止まったときに、「安心して食べられるものをつくりたい」という想いに気が付いたおふたりは、実香さんの地元である広島への移住を決めました。ひなた農園では、無農薬で化学肥料を使わずに育てた野菜セットを販売しています。なじみのある季節野菜から珍しい品種まで、ひなた農園で丁寧に育てられた野菜はおいしくて、見ていて楽しい。野菜セットに同梱されている「ぼかぼか便り」には、野菜をおいしく食べるレシピの他、子どもたちとのバタバタした日常が記されていて、まるで故郷の親戚から届く便りのようです。人は食べたものでできていると聞いたことがあります。いや、その通りですね。奏太くんところちゃんは、ひなた農園の米を食べ、自家製の味噌でつくった味噌汁を飲み、野菜を食べているから、あんなに健やかに育っているんですね。来年も広島を訪れて、彼らと遊びたい。今年は仕事に偏り過ぎて撮りそびれてしまったふたりの写真を撮りたいと思っています。



SHOP LIST

北海道

SHIRO 砂川本店
SHIRO 札幌ステラブレイス店

北海道砂川市豊沼町 54-1 みんなの工場内
北海道札幌市中央区北 5 条西 2-5 JR タワー
札幌ステラブレイス センター B1

関東

SHIRO 表参道本店
SHIRO BEAUTY 表参道本店
SHIRO 自由が丘店
SHIRO NEWoMan 新宿店
SHIRO ルミネエスト新宿店
SHIRO 伊勢丹新宿店
SHIRO 丸ビル店
SHIRO 銀座三越店
SHIRO +Q（プラスク）ビューティー
渋谷スクランブルスクエア店
SHIRO 渋谷ヒカリエ ShinQs店
SHIRO ルミネ池袋店
SHIRO 玉川高島屋S・C店
SHIRO ルミネ北千住店
SHIRO ルミネ横浜店
SHIRO ルミネ大宮店
SHIRO/TIAT DUTY FREE BEAUTY

東京都渋谷区神宮前 5-2-7 2F
東京都渋谷区神宮前 5-2-7 B1F
東京都目黒区自由が丘 2-9-14 アソルティ 1F・B1F
東京都新宿区新宿 4-1-6 NEWoMan 新宿 1F
東京都新宿区新宿 3-38-1 ルミネエスト新宿 B1
東京都新宿区新宿 3-14-1 伊勢丹新宿店本館 1 階＝化粧品
東京都千代田区丸の内 2-4-1 丸の内ビルディング B1F
東京都中央区銀座 4-6-16 銀座三越 地下 1 階 ギンザコスメワールド
東京都渋谷区渋谷 2-24-12 渋谷スクランブルスクエア
ショップ&レストラン 6階 SHIRO+Q（プラスク）ビューティー店
東京都渋谷区渋谷 2-21-1 渋谷ヒカリエ ShinQs 1F
東京都豊島区西池袋 1-11-1 ルミネ池袋 B1
東京都世田谷区玉川 3-17-1 玉川高島屋 S・C 南館 1F
東京都足立区千住旭町 42-2 ルミネ北千住 3F
神奈川県横浜市西区高島 2-16-1 ルミネ横浜 1F
埼玉県さいたま市大宮区錦町 630 番地 ルミネ大宮店 ルミネ 2 3F
東京都大田区羽田空港 3-4-2 第2ターミナル3階 国際線出国エリア内

中部

SHIRO タカシマヤ ゲートタワーモール店
SHIRO ジェイアール名古屋タカシマヤ店

愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-3 タカシマヤ ゲートタワーモール 6F
愛知県名古屋市中村区名駅 1-1-4 ジェイアール名古屋タカシマヤ 3F 化粧品

近畿

SHIRO 大丸京都店
SHIRO ルクア イーレ店
SHIRO 阪急うめだ店
SHIRO 大丸心斎橋店
SHIRO 大阪タカシマヤ店
SHIRO 大丸神戸店

京都府京都市下京区四条通高倉西入立売西町 79 大丸京都店 1F
大阪府大阪市北区梅田 3-1-3 ルクア イーレ 2F
大阪府大阪市北区角田町 8-7 阪急うめだ本店 3F HANKYU BEAUTY
大阪府大阪市中央区心斎橋筋 1-7-1 大丸心斎橋店本館 1F
大阪府大阪市中央区難波 5-1-5 高島屋 大阪店 1 階化粧品売場
兵庫県神戸市中央区明石町 40 番地 大丸神戸店 本館 1F 化粧品

九州

SHIRO 岩田屋店
SHIRO 博多阪急店

福岡県福岡市中央区天神 2-5-35 岩田屋本店 本館 1 階＝化粧品
福岡県福岡市博多区博多駅中央街 1-1 博多阪急 1F 化粧品

台北

SHIRO 新光三越台北信義新天地 A11 店

台湾台北市信義區松壽路 11 號 1 樓

London

SHIRO St. Christopher's Place
SHIRO Monmouth Street

Ground Floor, 15 St Christopher's Place, London W1U 1NJ, UK
Ground Floor, 63 Monmouth Street, London, WC2H 9DG, UK

SHIRO PAPER

Issue 3

発行：株式会社シロ
お問い合わせ
TEL: 0120-275-606
MAIL: info@shiro-shiro.jp

編集長：今井浩恵
Editor in Chief: Hiroe Imai

クリエイティブ・ディレクター：佐々木信（3KG）
Creative Director: Shin Sasaki

エディター：葛原信太郎
Editor: Shintaro Kuzuhara

表紙写真：澤圭太
Cover Photograph: Keita Sawa

発行人：福永敬弘
Publisher: Takahiro Fukunaga

プロデューサー：伊藤亜由美（CREATIVE
OFFICE CUE）
Producer: Ayumi Ito

編集企画：野木村美里
Editorial Planning: Misato Nogimura

PR・校正：小林穂乃香
Public Relations: Honoka Kobayashi

PR・撮影：笹木舞子
Public Relations: Maiko Sasaki

印刷：北海道新聞社
Print: The Hokkaido Shimbun Press

Thanks to:
高尾僚将 / 陣内雄 / 日向俊介 / 日向実香 /
日向奏太 / 日向ころ / ひなた農園の皆さん /
高山泉 / 小倉寛之 / 北崎千鶴 / 野中穂 /
札幌南高等学校林の皆さん /
MAISON SHIROの皆さん

Copyright © SHIRO Co.Ltd.
All Rights Reserved.
本誌掲載の写真、イラストレーション、記事、
ロゴの無断転載および複写を禁じます

shiro-shiro.jp
@shiro_japan

